

際どいクロスプレーの瞬間



洗練された技術で熱戦展開

◎鬼北町球技スポーツ少年秋季大会

「鬼北町球技スポーツ少年秋季大会」は9月25日、鬼北総合公園で行われ、町内外の小学生が熱戦を繰り広げました。大会種目はソフトボールとミニバスケットボールで、どの選手も日頃の練習の成果を発揮しようとして必死にプレーしていました。主な大会結果は次の通り。
▼ソフトボール①鬼北ジュニアA②鬼北ジュニアB▼ミニバスケットボール①近永球技スポーツ少年団②泉スポーツ少年団③野村スポーツ少年団

署員の話に聞き入る様子



地震の恐ろしさ改めて学ぶ

◎小松地区自主防災講習会

小松自主防災会（松原和雄部長）は9月18日、「小松地区自主防災講習会」を開催し、約60人の住民が参加しました。鬼北消防署員を講師に招き、スライドを使って南海・東南海地震の脅威や、被害予測などの講義があり、住民は真剣に耳を傾け、地震の恐ろしさを改めて学んだ様子でした。その他、心肺蘇生法などの救急訓練なども行われました。

一生懸命作業する児童



昔ながらの手作業を体感

◎愛治小児童稲刈り

愛治小4・5・6年児童25人による稲刈りが10月4日、地元農家の鷺見一男さん「畔屋」指導の下行われました。児童らは、刈り始めはのこ鎌がうまく使えず、苦勞していましたが、すぐにこつをつかみ手際よく作業を進めていきました。その後、刈った稲を稲木にする作業中、前が見えなくなるほど稲を持ち運ぶ児童の姿もありません、全員が楽しそうに作業していました。この日収穫した米は、学校行事の餅つきなどで使われる予定です。

こつこつと作業を進める住民



地元の景観保持のために汗流す

◎成川地区清掃活動

昨年からは始まった「成川地区清掃活動」が9月25日に行われ、成川地区住民ら48人が参加しました。住民らは、成川入口の国道から休養センターまでの道路沿いの約4キロを、草刈り機で雑草を刈ったり、火ばさみとごみ袋を持ちごみ拾いをしたりと、清掃活動に汗を流しました。この活動は、散歩をする人や観光客のために、景観を保持しようと、自治会主催で行われている活動です。